

# 「高等学校における外国人生徒等へのキャリア支援等に関する実践ガイド」

高等学校段階の外国人生徒等のキャリア教育・支援の取組を推進するため、取組を行う際の考え方、視点、取組の方法や事例等を紹介。(実践ガイドを作成するにあたり実施した高校学校へのアンケート調査結果や実践事例等も掲載)

## 外国人児童生徒等のキャリア教育・支援の考え方

- キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」より（２０２３）
- 外国人生徒が自身の進路を切り拓いていくためには、これらの実践の中に外国人生徒等向けのキャリア教育・支援の視点を取り入れたり、必要に応じて外国人生徒等向けのキャリア教育・支援を追加で行っていくことが必要。

## 外国人生徒等のキャリア教育・支援を行う際に留意すべき視点

- 外国人生徒等の持つ多様性を「長所・強み」として生かす
- 日本語教育や各教科学習を通じて、問題を解決して自分の考えを形成できる力を身に付ける（日本社会の仕組みや産業構造など、日本社会に対する理解も深める）
- 外国人生徒等の主体的な学びや進路選択を支援する（保護者や教員の先回り指導の影響を受ける場合がある）
- 外国人生徒等の置かれた背景・状況を理解する（保護者の意向、国や文化、宗教によりキャリアの考え方が異なる場合がある）
- 保護者・家庭との密なコミュニケーションをとる（早い段階から家庭の状況を把握し、保護者への情報提供等を行う）
- 在留資格・国籍を把握し、進路への影響を意識する
- 多様なキャリアを考える（就職して経済的な余裕を確保してから大学へ入学など）



[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shoto\\_u/clarinet/003/1345413\\_00008.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shoto_u/clarinet/003/1345413_00008.html)

## 外国人生徒等のキャリア教育・支援の取組み内容別のポイント・事例

高等学校で行われるキャリア教育・キャリア支援の取組ごとに、実施のポイントと具体的な事例を紹介（以下抜粋）

### 1 自己分析、自己理解・他者理解

- POINT
- 生徒の「長所・強み」について考え、発展させる
  - 各教科学習等を通じて、問題を解決して自分の考えを形成させる
  - 適正検査、性格検査等の質問項目のやさしい日本語化・翻訳

### 2 キャリアプランの検討

- POINT
- 進路について主体的に学ぶ機会をつくる、多様なキャリアを考える
  - 進学において必要となる費用等を理解する
  - 専門性が高い内容は学校外の関係機関・団体等との連携を検討する

